



南葛西第二小学校だより



潮風

教育目標「自立と貢献」

令和8年9月1日

江戸川区立

南葛西第二小学校

第5号



倒木更新

校長 川浦 孝彦

幾分前の話になってしまいましたが、7月6日から8日までの間、6年生の日光移動教室がありました。6年生は、最高学年らしく自分たちで協力し、活動を進め、楽しい思い出をつくっていました。二日目の奥日光・戦場ヶ原のハイキングでは、自然と触れ合いました。ウラジロモミやコメツガなどの倒木は、緑の苔をつけ、新しい命（幼木）を生やしていました。

「倒木更新」という言葉をご存じでしょうか。倒れた木（倒木）が朽ちていく過程で、新しい木がその倒木の上や周辺に生育し、世代交代が進む現象を指します。特に自然林では、倒木はただの「枯れた木」ではなく、次の世代の苗木を育てるための「ゆりかご」になるのです。

では、なぜ、倒木が苗木のゆりかごになるのでしょうか。倒木は、苗木にとって理想的な環境を提供します。養分が豊富（分解が進むほど窒素・リンなどの栄養が供給される）、水分保持力が高い（スポンジのように水を蓄え、乾燥から苗木を守る）、地面より競争が少ない（下草や低木が生えにくく、光を奪われにくい）、病害虫の影響が少ない（地面より湿度や病原菌の影響が軽減される）などの理由があります。

そして、倒木更新は、森林にもたらすメリットがたくさんあります。森林の自然更新が進む、生物多様性が高まる（昆虫・菌類・苔などの生息地になる）、土壌の流出を防ぐ、倒木が炭素を蓄えるため、気候変動対策にも寄与します。自然のサイクルの中で、倒木は「死」ではなく「次の命を育てる装置」と考えることもできます。

木が倒れてから苔が生えるのに十数年、そこに落ちた種が幼木まで育つのには数十年、そして親木になるまでには、百年単位の時間の経過があるのではないのでしょうか。途方もない成長の歴史、時の流れが静かに営まれているのです。学校の歴史や伝統も簡単にできるわけではありません。教育はそのような時間の営みの中で進んでいきます。

「今できることを精一杯。今しかできないことを楽しんで。」が、生活の基本であり、また、学校は小さな社会、大きな家族であると考えます。小さな社会と大きな家族の中で、日々学び、遊び、生活することを通して、「笑顔、元気、思いやり」あふれる子供たちを育てていきます。皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



運動会の実施について

本年度は、10月24日（土）午前中に実施します。「健康を維持増進し、豊かなスポーツライフを目指す」という体育科の目的を再考し、短距離走と表現運動に取り組むこととしました。これにより、残暑の中での練習と参観への対策、授業時数の確保にもつながります。

詳細は、後日改めてお知らせいたします。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

9月の予定

【 9月の目標 】 学校の約束や決まりを守りましょう



月：金：朝学習 火：フツ化物 水：朝会(各週) 木：集会

日	曜	行 事	各学年の時間					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	火	始業式 安全指導	4	4	4	4	4	4
2	水	給食始	4	4	4	4	4	4
3	木	安全指導集会 南二道場 1 1 計測①	5	5	5	6	6	6
4	金	計測②	5	5	6	6	6	6
5	土							
6	日							
7	月	スタディーウィーク始 計測③ 委員会	5	5	5	5	5	5
8	火	避難訓練 計測④	5	6	6	6	6	6
9	水	朝会 計測⑤ 校内研究授業（6—2のみ5時間授業）	4	4	4	4	4	4
10	木	外国に触れる機会 モルモットふれあい① 南二道場 1 2	5	5	5	6	6	6
11	金	計測⑥ 稲刈り体験⑤	5	5	6	6	6	6
12	土							
13	日	スタディーウィーク終						
14	月	音楽会鑑賞教室⑥ クラブ	5	5	5	5	5	5
15	火	社会科見学⑥	5	6	6	6	6	6
16	水		4	4	4	4	4	4
17	木	ガイドヘルプ体験④ 南二道場 1 3	5	5	5	6	6	6
18	金	歯科指導③ 読み聞かせ①②③	5	5	6	6	6	6
19	土							
20	日							
21	月	敬老の日						
22	火	国民の休日						
23	水	秋分の日						
24	木	南二道場 1 4	5	5	5	6	6	6
25	金		5	5	6	6	6	6
26	土	土曜授業公開 1～3校時 道徳授業地区公開講座	4	4	4	4	4	4
27	日							
28	月	振替休業日						
29	火	笑顔と学びのプロジェクト⑤ 買い物・サステナブルについての出前授業⑤	5	6	6	6	6	6
30	水	朝会	4	4	4	4	4	4

〈教師のつぶやき〉満月の時、月を見ているともようがあるのが見えますね。皆さんは何に見えますか？日本では「ウサギ」、インドネシアでは「編み物をする女性」、北米では「カニ」などと言われているそうです。…ですが、このような正体は、溶岩の塊であり、月にはウサギどころか、生き物はまったくないのです。by 加藤 来実